



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	杉山, 太幹; 辻野, 直三郎; 深井, 考之助 他
Citation	makoto. 1983, 41, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/86062">https://doi.org/10.18910/86062</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



大阪府衛生部長

杉山 太幹

## 新年にあたって

新年あけましておめでとございます。

旧年中は、本府の衛生行政に多大なご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

とりわけ、昨年8月の台風10号及び豪雨による災害にあたりましては、防疫活動についてご協力をいただき深く感謝致して

おります。お陰をもちまして、伝染病患者の発生も未然に防止することができ、まことに幸いです。

さて、近年、府民の健康に対する関心や認識はますます高まり、疾病の治療に加えて予防においてもその必要性が一層重要視されております。

また、公衆衛生の向上及び生活環境の変化も相まって、法定伝染病患者の発生数は、減少致してまいりました。しかしその

反面、風しん・手足口病等、その他の感染症の態様には著しい変化がみられるところであります。

月に、これら実態の把握が不充分であった感染症の流行を早期かつ的確に把握し、その情報を速やかに地域に還元することにより医療機関のプライマリ・ケアの推進に資するとともに、予防接種、衛生教育など適切な予防措置等を講じ、感染症のまん延の未然防止を図ることを目的とし、大阪市と連携をとりながら感染症サーベイランス事業を発足致しました。

最後に、貴協会のみならずの活躍、ご発展をお祈り致しまして、新年のごあいさつと致します。



財団法人大阪防疫協会

理事長 辻野 直三郎

## 新しい年のはじめに

新年のお祝いを申し上げます。

当協会は昨年五月十五日をもちまして、創立三十五周年を迎えることが出来ました。これ備えに、各位のご指導、ご鞭撻のたまものと感謝いたして居ります。今後ともご指導、ご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。さて今日は激動の時代、世界は大きく揺れ動いて来ています。

世界不況の中で日本経済の活力は失われて行くのだろうか、対外摩擦、景気浮揚、財政再建、行政改革と大変な時期にさしか

かかって来ました。低成長下、消費者の価値感が多様化し、企業をとりまく市場環境は大きく変化して来ています。商品の「軽、薄、短、小」化は省資源に、「高品質化」「耐久化」は耐用年

数を長くし、経済という全体の枠はなんとなく小さく、アイデアとイノベーションが一段と要求される時期になって来ました。

「自由と活力と創造の二十一世紀の大阪」と、浪速っ子の願いをこめて「大阪二十一世紀計画」が、十月八日に開幕、トップバッターとして、「大阪築城四〇〇年まつり」がはじまる

を願うものです。

人が生活していく上で、美しい自然と衛生的環境は欠くことのない大切な要素、生活環境の変化によってか、最近真菌による害が大変気になるところです。

しかし一般的にはどれほどの関心が、真菌に向けられているのだろうか。真菌の効用の大きさの陰で、その害が過少評価されてはいないだろうか。いつの間

にやら真菌のトキシンで汚染された食物を摂取することで、原因不明の「食中毒」にかかったり、「ガン」に、そんな心配はないでしょうか。

## 謹賀新年

財団法人 阪大微生物病研究会

理事長 深井 孝之助



私共の財団が、府民の皆さまのお力添えで発足致しまして以来、ほぼ半世紀が過ぎようとして居ります。この間に何種類ものワクチンが当財団で開発され、

昨年は画期的な百日咳・破傷風・デフテリア三混ワクチンをお届けすることができました。これは欧米諸国でもまだ開発され

ていない優れたもので、日本からあのいやな百日咳が駆逐されるのも近いと思われるます。

しかし、昨年四月から府下の感染症サーベイランス事業のお手伝いを致して各方面からお寄せいただく情報を拜見して居りますと、まだまだ小児の感染症は安心できないと思われま

す。おたふくかぜ然り、若い女性にも関係の深い風疹然り、で下痢症、手足口病などは新らしく勢を増して来ていますし、川崎病

などの原因不明の小児病も重大な問題となりつつあります。次の世代を荷う子供達を何とかこれらのものから守りたいと、私共は懸命の努力を続けておりま

すが、種々の制約から研究は遅々としております。

一方、B型肝炎(血清肝炎)については肝臓との関係が論じられており、これまた今後の国民保健にとって重要な課題となりつつあります。

この平和な日本も、こうした面から眺めますと決して安穩ではない、と言わねばなりません。当財団職員一同は新しい年を迎えるにあたり、従来からの生物製剤の質の向上に一層の力を注ぐはもとより、遺伝子工学等の新技術の導入によって急速に技術革新をはかるべく覚悟を新たにしておりますが、そ

の前途は決して平坦であるとは思って居りません。一の結果を得るためには百、千の努力が必要なのは当然であります。殊に生命の安全に関する製剤を預ります私共は、更にそれ以上の責任がありますことを自戒致し、

この社会に生きてゆけることに報いたいと考えております。

今後益々の御指導と御鞭達をいただきますよう、財団職員一同と共にお願い致します次第であります。現在、腎疾患、白血病などを持つ子供達のための水痘生ワクチンの開発が進展中であることを末筆乍ら申し添えます。

## 新年のごあいさつ

大阪市環境保健局長

保川 圭司



あけましておめでとうございます。昭和58年の新春を迎えるにあたり、皆様方のご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

また、旧年中は本市環境保健行政をはじめとし市政の各般に對しまして多大のご協力を賜り

ましたことをここに厚くお礼申し上げます。

さて、今年から大阪が活力ある国際都市、文化都市として、さらに発展するよう大阪21世紀計画がスタートしますが、そのトップを飾り10月には「大阪築城400年まつり」が開催される予

定になっております。

このように、大阪の21世紀を目ざして都市基盤の整備が進められますが、なかでも市内を清潔に保ち、来阪される方々が、大阪の町にいい印象を持っていただくよう環境改善を進めることは極めて重要であります。

また、近年の都市環境と国際化により、新しい病気や今まで考えられなかったような衛生害虫の移入等が問題になってきており、従来からの公衆衛生の概念を超えた新たな対応を求められる状況になってきております。

本市といたしましては、市民の皆さんの健康的でより快適な生活環境を守るため、このうえとも努力する所存でございます。しかしながら、貴協会をはじめとする関係諸団体のご協力を賜り、はじめて公衆衛生の向上

と生活環境の確保が達成されるのでありまして皆さんのお力添えに大きく期待する次第でございます。

どうか、皆さんにはこれからの時代に即応した防疫体制や住みよい生活環境づくりのためになおいっそうの御努力と御協力をお願いし、大阪防疫協会の限りないご発展と、皆さま方のますますのご活躍、御健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。



# 新年を迎えて

堺市衛生部長

西岡久雄

あけましておめでとうござい  
ます。旧年中は本市保健衛生行  
政に多大のご尽力を賜わり厚く  
お礼申し上げます。

本年も相変わりますせず、よろ  
しくご指導を賜りますようお願い  
申し上げます。



新年おめでとうございます。

当社は昨年十月米国元大統領  
ジェラルド・R・フォード閣下

と、元国務長官ヘンリー・A・  
キッシンジャー博士を我が国に

招聘し、ご両氏と福田赳夫元総  
理にご出席を願って「米国の選

択・日本の選択」と云うテーマ  
で国際フォーラムを大阪・東京

でそれぞれ政・財界の著名な方  
々をお招きして開催すると共に

関西テレビをキーステーション  
とする全国ネット番組として

放送致しました。

私は、このイベントにフォー  
ド閣下・キッシンジャー博士両

さて、私、昨年四月より衛生  
部長に就任して以来、種々の難  
しい諸問題がございましたが、  
皆様のご支援ご協力を得て、本  
市の保健衛生行政の向上発展の  
ために微力ながら努めて参った  
ところであります。

最近の市民の健康状態をみま  
すに、公衆衛生思想の普及、向  
上並びに医・薬学の進歩により  
平均寿命の伸長、疾病構造の変  
化等に見られるように、顕著な  
改善がみられています。しかし、  
その反面、高令化社会の到来に

ともなう、老人の健康保持や都  
市化の進展にともなう、生活環  
境、様式、食生活の変化等によ  
る成人病、難病、心身障害など  
と云った新たな課題が提起され  
ます。また保健衛生需要が増大し  
てきています。このようなきびしい  
現況にあって、本市としても最  
大限の努力をし、市民の生涯を  
通じての健康づくりを目的に、  
今以上の前向きな姿勢で立ち向  
かって行かなければならないと思  
っています。

住民の強いご要望でございました  
登美丘保健センターが、いよいよ、  
本年一月より開設する運びとな  
り、地区住民に、より密着した  
保健サービスの向上に努めると  
ともに、ご利用される方々に、  
より親しんでいただけるよう充  
実した施設にいたしたいと張り  
切っています。

# 慎重と慧眼

関西テレビ放送株式会社

総務部長 松本幹男

ご夫妻の全スケジュールに亘っ  
てお世話するため同行いたしま  
した。

大阪では十月十二日ロイヤル  
ホテル光琳の間に於いて午後二

時よりフォーラムが開始されま  
した。そして、八百人の聴集を

前に日米関係を含めた世界情勢  
について幅広い意見の交換をし

ているフォーラムの最中、午後  
三時少し前に突如テレビに鈴木

総理退陣のテロップが流され大  
騒ぎとなり、会場にはフォーラム

を取材するためつめかけた多数  
の報道関係者がざわめきたちま

した。その時、舞台の下から関

係者により鈴木総理退陣の「メ  
モ」が手渡されましたが福田先  
生は「メモ」に目をやっただけ

で、フォーラムは続けられました  
た。そして、その数分後、福田

先生の秘書が東京に確認した旨  
の秘書自筆の「メモ」を再度舞

台下から手渡した瞬間、福田先  
生の顔が明るくなったのが遠目

にもよく見えました。テレビ中  
継ならではの迫力の画面となり

ました。それでも経済論議の発  
言に比べて、最後にトーンを若

干上げただけで、日本の政局に  
ついて、直接鈴木総理退陣の発

表にはふれず、「私は黄門様と

いわれているが、何処へいって  
も叱られる「何故立ち上がらな  
いのか」「印籠を何処へ忘れた  
のか」ってね。いま自民党総裁

の任期が来た。政治改革の節目  
だ。鈴木総理とはさしてじっく  
り話してみたい。鈴木さんは真

面目で人間として大変尊敬して  
いる。必ず私の考え方を理解し  
て呉れると思う」「あと百時間

ぐらいて政治の流れの潮が来る  
国民は皆心配している。このま

までは選挙になったら雪崩現象  
が起きる。政局が清く正しくな

るよう最善の努力をしたい。」と

「慎重な発言をしてフォーラ  
ムは終わりました。

我々会場で鈴木総理の退陣を  
知って聞いているものにはもの

たりない「慎重」さだったが、  
やはり大政治家ともなれば、二

回の「メモ」でも「慎重」に対

応されたにはある一面で感心  
させられました。

その後、ご承知のように、中  
曽根内閣が誕生することになり

その後、福田先生が「慎重」過  
ぎた結果が、先生のご意向とは

違った仰角の中曽根氏が総理に  
なったと思われてなりません。

フォーラムのテレビ録画の画面  
では振りまいいた笑みも口を「へ」

の字に結びロイヤルホテルから  
新大阪駅へと急がれたのが、印

象的でした。

明けて、翌十月十三日早朝、  
全日空の東京行のアップバーデッ

キでキッシンジャー博士は昨  
夜から集めた情報と、今の日本

の政界の流れを的確にとらえて、  
後継者は「中曽根」としきりに

はしゃくように話しをしていたの  
が印象的で、正に博士の世界政

治・日本政界に対する慧眼と云

わざるを得ない。

年の始めにあたり本年も、慎

重々と、慧眼々とを兼ねそなえ

られればと思わずにはいられな

い。



## 新しい年を迎えて

阪急電鉄株式会社

車両部次長

井上敏夫

明けましておめでとうござい  
ます。

一見、平和でのどかな正月風  
景ではございますが、今年昭和  
五十八年は、新しい指導者のも  
とに、大きな政治的課題を克服  
しなければならぬ大変な年に  
なりそうです。

私共のように、平素政治にあ  
まり関係しない所で仕事をして  
いる者でも、やはり景気の浮揚  
策や貿易摩擦の解消策などに無  
関心ではおれませんし、効果的  
な施策の実施とその成果にどう



新年おめでとうございます。

私は昭和十六年巳年生まれ、  
今年が男の厄年の後厄にあたり  
ます。

広辞苑には、厄年とは「人の  
一生のうち厄の多い年まわりで、  
忌み慎むべき年」とあり、男の  
四十二才を特に大厄といつて、

しても期待してしまします。

そして、私に特別なその方面  
の知識や根拠がある訳ではあり  
ませんが、何んとなくあまり好  
まないのではないかと感じて  
おります。あとはこれが全くの  
見当外れに終ることを祈るのみ  
でございます。

さて話は変わりますが、私共の  
会社では、貴協会の第二事業部  
に主として宝塚線の電車、駅舎  
の消毒をお願いしているわけであ  
りますが、私は車両部に所属し  
ておりますので、電車の消毒、

清掃作業を通じて貴協会とつな  
がりを持っております。そして  
平素より献身的とも云える協力  
をいただきながらお礼らしく言  
葉は云った覚えがございませんの  
でこの機会をお借りしましてお礼  
の言葉を述べさせていただきます。

元来車両の消毒清掃という業  
務は、私共の担当しております  
車両の保守業務の一部であり、  
したがって貴協会には私共の  
業務の一部を負担していただ  
いている訳であります。

一般に車両保守の仕事は、典

## 厄年に思う

南海電気鉄道株式会社

運輸部庶務課長

青木恵二郎

老年に入る前の体力の衰え、変  
化に注意を促しています。

しかし、これは人生五十年の  
世の話、人生八十年の現代では  
もつと異なった意味を持つと考え  
ても良いであろう。

私自身にあてはめてみると、  
人生八十年の丁度折返し点、又

会社生活に於ても現在入社以来  
十九年、残りも十九年、まさに  
折返し点であり、厄年を人生後  
半への出発点として、一度立止  
り、身も心も再点検するチャン  
スとして考えたいと思います。

まず、前厄になった一昨年か  
ら始めたのが、遅ればせながら

のゴルフである。

自分とは程遠い存在だったゴ  
ルフを、周囲と自分との関係、  
又、健康にも良いと自分に言い  
聞かせて始めてもうすぐ二年、  
一番面白い時期であり、他の趣  
味を控えて熱中しているが、よ  
く歩くこと、練習が必要なこと  
で確かに健康に良いようである。

次に始めたのが就寝前の五分  
間の柔軟体操である。

寒くなると億劫になり勝ちだ  
が、毎日続けていると一日の体  
の疲れや、ストレスがはぐれ安

眠に役立つようである。

そして、昨春はじめて人間ド  
ックに入ってみたが、特別の病  
気はなく、中性脂肪が多く高尿  
酸という診断であり、それ以降、  
アルカリ性食事を目標している  
が、外食が多く美食家の私には  
これが一番難しいようである。

厄年を迎えてから始めたゴルフ、柔軟体操、食事改善の三つ  
の健康法であるが、どれも根気  
よく続けることがポイントであ  
り難しいのである。

後厄にあたる今年の元旦に際